

開講年次・時期	1年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	必修	授業形態	演習	単位数	1単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC210	科目名	コミュニケーション技術Ⅱ	担当者名	棟方ナナ子(実務家教員)
授業の概要	さまざまな介護場面における専門職としての適切なコミュニケーション方法を学ぶ。利用者・家族・多職種とのコミュニケーション技術を習得する。				
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな症状や障害を理解し、それに応じたコミュニケーション技法を学ぶ。 ・専門職としてのチームコミュニケーション能力を習得する。 ・介護における家族とのコミュニケーションを理解する。 				
DPの観点	①聴く力 ②表現力 ④協調性 ⑥専門知識・技能 ⑧実践力				
授業時間外学修(予習・復習)	テキストの習熟と専門用語を調べる。予習・復習はそれぞれ1時間程度行うこと。				
フィードバックの方法	課題レポート及び試験結果を返却する				
単位認定の要件	授業時間内、決められた期日までの課題提出を重視する。授業への取り組みや試験で定められた基準を満たすことが単位認定の要件となる。				
評価の方法・割合(%)	試験60% 授業内提出物30% 授業内活動10%				
履修上の注意事項	介護福祉士資格取得必須科目 30分以上の遅刻は欠席とする。遅刻3回で欠席1回とする。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			「家族との関係づくり」	①②④⑥	コミュニケーションカード
2			ICF視点とコミュニケーション技術	①②④⑥	コミュニケーションカード
3			「家族への助言・指導・調整」「家族関係と介護ストレスへの対応」	①②④⑥	コミュニケーションカード
4			ジョハリの窓 オノマトペ	①②④⑥	コミュニケーションカード
5			認知症者へのコミュニケーション方法	①②④⑥	コミュニケーションカード
6			「チームのコミュニケーションとは」	①②④⑥	コミュニケーションカード
7			専門職の記録方法	①②④⑥⑧	コミュニケーションカード レポート課題
8			「報告・連絡・相談の技術」	①②④⑥⑧	コミュニケーションカード
9			「記録の技術」	①②④⑥⑧	コミュニケーションカード
10			「会議・議事進行・説明の技術」	①②④⑥⑧	コミュニケーションカード
11			さまざまなコミュニケーション障害のある人への支援1.2.3.4(視覚障害・他)	①②④⑥⑧	コミュニケーションカード
12			「事例検討に関する技術」	①②④⑥⑧	コミュニケーションカード
13			さまざまなコミュニケーション障害のある人への支援5.6.7(うつ病・他)	①②④⑥⑧	コミュニケーションカード
14			「情報の活用と管理のための技術」	①②④⑥⑧	コミュニケーションカード
15			さまざまなコミュニケーション障害のある人への支援8.9.10.11(知的障害・他)	①②④⑥⑧	コミュニケーションカード レポート課題
期末試験			試験 まとめと確認		確認試験

使用テキスト	新・介護福祉士養成講座第5巻「コミュニケーション技術」 荘村明彦 中央法規
参考文献 参考URL	介護福祉学 介護福祉学研究会監修 中央法規
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--